

## 悪臭吸着消臭剤「グラフトン重合」追加資料

臭いの種類は非常に多岐にわたります。生活環境における悪臭原因物質・有害化学物質

- ・アセトアルデヒド：タバコ臭等の代表的な悪臭原因物質
- ・イソ吉草酸：腋臭や足の蒸れた臭いの代表的な悪臭原因物質
- ・ノネナール：加齢臭等の代表的な悪臭原因物質
- ・トリメチルアミン：肉や魚の腐敗臭・ペット臭の代表的な悪臭原因物質
- ・アンモニア：体臭や尿臭等に含まれる最も代表的な悪臭原因物質
- ・ホルムアルデヒド：シックハウス・シックカーの最も代表的な悪臭原因物質  
発がん性有害化学物質

### ●市販消臭剤との性能比較

#### 6.50ガラスチャンバー法試験

アンモニア（尿のような臭い）：スタート20ppm から  
臭気ライン⇒2.6ppm

	ecoFRESH	他社品
30分	0.4ppm	14.3ppm
120分	0.0ppm	11.0ppm

アセトアルデヒド（たばこ臭）：スタート25ppm から  
臭気ライン⇒10.0ppm（強烈な臭い）

	ecoFRESH	他社品
30分	14.0ppm	23.4ppm
120分	6.2ppm	21.2ppm
360分	3.5ppm	19.9ppm

トリメチルアミン（ペット臭）スタート18ppm から  
臭気ライン⇒1.3ppm

	ecoFRESH	他社品
30分	0.0ppm	18.0ppm
120分	0.0ppm	15.0ppm
360分	0.0ppm	13.0ppm

ホルムアルデヒド（発ガン性物質）：スタート20.ppm から  
室内濃度指針値⇒1.3ppm

	ecoFRESH	他社品
30分	0.0ppm	19.0ppm
120分	0.0ppm	16.3ppm
360分	0.0ppm	13.2ppm

### 消臭試験概要

#### 試験方法：6.5lガラスチャンバー法

- 1) 直径 90 mm のろ紙に各製品を 1g 全面塗布し、乾燥させたものを検体とする。（BLANK については、消臭剤未塗布のろ紙を使用する）
- 2) 6.5l ガラスチャンバー（清風ファン付き）を複数用意し上記 1) の検体を各 1 枚ずつ設置し、密閉状態を確保する（この際、対象物質・滴下用として、消臭剤塗布を行っていない直径 90 mm ろ紙も 1 枚ずつ設置しておく）
- 3) 対象物質の希釈溶液をシリンジホールより投入する。
- 4) ガラスチャンバー内の清風ファンを稼働させる。
- 5) 直読式検知管により、時間経過による対象物質濃度を測定する。